かんきょうニュース

四日市市立塩浜中学校
塩浜エコクラブ

環境サマースクールに参加して

私たち環境部は夏休みに環境学習センターにいって中国の天津市の中学生といっしょに環境について学習しました。(四日市は天津市と友好都市)授業中は、私たちがグループでそれぞれ公害のこと、エコリサイクル、キャンペーンのことなどを発表しました。発表は班にわかれて天津の人たちといっしょにしました。食事は中華風でした。その後、休み時間に手をつないでゲームを行いました。

午後からは、少年自然の家近くのふれあいの森で植木のかんさつをしました。

感想

- 言葉は通じなかったけど楽しかった。
- 環境をよくする努力をしていきたいと思った。
- 中国も環境をよくするために取り組んでいることもわかった。

環境について話し合っているところ

「ふれあいの森」で植木をかんさつしているところ

中国の環境「大地との共生」から

読売新聞スクラップより

・パンダの生息地

いろんな動物が自然破壊や森林伐採で住む場所を壊されて、絶滅している。
中国のパンダが激減する理由の一つも、それと大きなつながりがあると思う。
生息地を回復するには、パンダの住む場所を壊さないことだが、森林を切り倒さないことは、今のままでは、とても難しいことだと思う。
私の考えとしては、もし切らなければいけないのなら動物の生息地は壊さず切ればいい。でも、切る量は最低限にしぼって、将来は伐採することのないようにしていってほしいと思う。

・ガスパイプライン

中国にある天然ガスパイプラインは、汚れてしまう地球を守る大切な役目をしている。このパイプラインは、エネルギー源を通して、大気汚染の改善をし、今の世の中にはとても必要だと思う。
このパイプラインがなくなってしまったら、どんどん空気が汚れてしまう。
起死回生のすばらしい「道具」だと思う。

・砂漠化のオアシス化

砂漠をオアシス化するという開発は、良い考えだと思う。実際99年からオアシス開発区を開発し、かんがい農業を柱とするオアシスを建設している。そしてホータン区でも、砂漠を建設している。
生産と環境の両立をはかる開発した土地周辺の防風林や植林も大きな役目となっている。
このオアシス化で、少しでも解決することがあるのなら、この計画や環境改善は大成功だと思う。

スクラップ全体の感想

新聞スクラップをはじめてやって、日頃読まなかった新聞の記事でたくさんのことを知った。
どの環境記事も、自然破壊が元になるものが多かった。
自然破壊が元ということは、自然破壊の元を考えてみると、私たち人間が元だと思う。
私たちが、木を切り倒し、車からガスを出し、汚れた水を海へ流している。
すべては人間の行為で、人間がなおしていかなければならないと思った。

川瀬絵里子

ケナフについて

- 原産地…アフリカ
  学名…「Hibiscus」といってアオイ科ハイビスカス属の1種。
- 語源…[illegible]の「kenaf」に由来する。
- ケナフの葉は上部に[illegible]の花が咲く。

地球に優しいケナフ ～ケナフの特徴

花壇に植えたケナフ

私たち環境部は学校の花壇にケナフを何株か植えました。そこでケナフはどのような特ちょうがあるかを調べました。

1. ケナフでは紙の種類[illegible]
   - 紙漉き(はがき作り)
   - 壁布繊維[illegible]
   - 栄養のはいった餌
   - 染め物
   - 古い繊維部分を脱して着物作り
   - キーホルダー[illegible]
2. 地球温暖化の原因の二酸化炭素の処理能力(吸収力)が高い
3. ケナフの種子から油が採れる。その油は、[illegible]に利用されて[illegible]になる。
4. ケナフの一年でほかの木の種より一般の[illegible]成長が速い。
5. ケナフに最初に注目したのはアメリカです。アメリカは代替原料を探すため5000種類以上の植物の適性を調査した。そしてアメリカの農務省のプロジェクトでケナフが有望株として選ばれています。
6. 樹木は一度伐採すると次に大きく育つまでには長い時間がかかりますがケナフは1年で繰り返し栽培ができる植物なのです。(再生可能)

〈感想〉

- ケナフの種一粒から普通の木までは一年で育つことがわかる。
- ケナフに最初に注目したのはアメリカだと初めて知った。

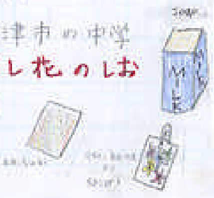
中村 由佳

老人福祉活動とハガキ作り。

－手づくりハガキでお年寄りに手紙－

私達はそれぞれの町に分かれて、**一人暮らし老人**に手紙を出しました。
環境部ではちらしをちぎって、紙すき道具にかけて、アイロンにかけて、かわかして**ハガキを作りました。**

環境部では小人数で**250枚ほどつくり、**とっても大変でした。
そのハガキで一人暮らし老人に**暑中見舞い**を送りました。
また、夏休みには、天津市の中学生にその**ハガキ**と**おし花のしおり**をさし上げました。



石けん作りに挑戦!!

－石けんのつくり方－

天ぷら油のいらなくなった油を使って、石けんづくりをしました。
牛乳パックの容器を利用して、その容器の中でつくりました。
密ぷうして、一週間ほどおいてみましたが、まだ固まっておらず、1ヶ月くらい経って少しずつ固ってきました。
今、みんなで使っています。

感想

石けん作りは2回目だったけど紙すきやおし花しおりは初体験で楽しかったです!!

川瀬 桃子

アカウミガメのことについて

白塚海岸のアカウミガメについて

- 5月25日に津市白塚町の海岸で昨年ぶりにアカウミガメの産卵が確認された。
- 場所は堤防から三十数メートルの砂浜。
- 23日晩にアカウミガメの上陸を見つける。
- 25日朝に白塚の漁業関係の人たちが、卵を発見しました。

減少するアカウミガメ

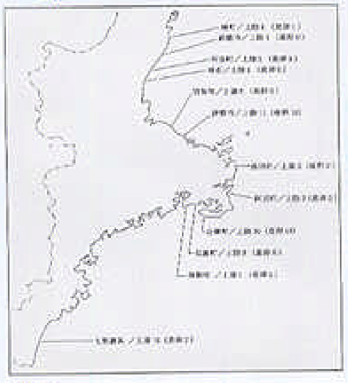
1999年三重県野生動物研究会が調査したところアカウミガメが減少している→原因 砂浜の環境悪化。
2000年の調査…親ガメが20頭減少している

・ウミガメのためにいろんな活動がある。
1. 七里御浜で車両乗り入れ禁止
2. 七里御浜でアカウミガメの夜間パトロール開始する。

ウミガメのために…

7月23日の調査のなかで河芸漁港のすぐ北でウミガメの産卵のあとを発見。
人通りの多い場所であったため、71個の卵を安全な所へ移動しました。

三重県内でのウミガメが上陸した町



感想

アカウミガメのことについて調べてこんな町(海岸)の中にもウミガメが卵をうんでいくことをしってびっくりしました。
環境をもっとよくしていかないといけないと思いました。 澤田 恵子

公害について

四日市ぜんそく

- コンビナートが操業をはじめて3年程たった昭和37年ごろから臨海地域を中心にぜんそくに苦しむ人が急に増えた。
- 煙突から出る「煤煙」で洗濯物が真っ黒になって外に干せなかった。
- きつい臭いのするガスで吐き気をもよおす人や涙が出る人がたくさんいた。
- 海では伊勢湾北部でとれる魚は石油くさいと言われた。また、しじみやあさりなどの貝もとれなくなった。
- 学校ではうがいの数を増やして手洗いやうがいをしっかりさせたり、体をきたえるために乾布まさつなどを始めていた。教室内には空気清浄機が取りつけられていた。
- 公害認定患者になった人は赤ちゃんの時、ミルクを飲ませてすぐ噴水のように吐きあげていた。吐きあげたり、呼吸困難になったりして苦しんだ。

上原亜希乃

【歴　史】

昭和34年4月	第1コンビナートが本格的に動き始める。
昭和35年10月	四日市市公害防止対策委員会が発足する。
昭和38年11月	第2コンビナートが本格的に動き始める。
昭和42年7月	三重県公害防止条例が制定される。
〃　9月	公害訴訟が始まる。
昭和47年2月	第3コンビナートが本格的に動き始める。
〃　7月	公害訴訟の判決が下る。
昭和52年3月	二酸化硫黄の環境基準を達成
昭和63年3月	新たな公害患者の認定がなくなる
平成5年11月	環境基本法が制定される。
平成7年3月	四日市市環境基本条例を制定
平成12年2月	環境管理システム「ISO14001」の認証取得。

クラブ所在地	三重 都道府[✓県] 四日市 [✓市]区町村
クラブ名	塩浜エコクラブ

記入しないで下さい